

ハチ公と農業農村工学の関係

■ハチ公と農業農村工学会の意外なつながり

「ハチ公」を知っていますか？ そう、映画「ハチ公物語」に出ていた「ハチ公」です。この「ハチ公」が農業農村工学会と関係があるなんて・・・？

ハチ公のご主人は、農業農村工学会が毎年授与している学会賞の一つである「上野賞」の名前の由来となっている上野英三郎先生です。ハチ公は、大正12年秋田県大館で生まれた秋田犬です。農業農村工学の前身である農業土木学の祖である上野先生に飼われることになりました。

ハチ公は、先生が亡くなられても、雨の日も風の日も、毎日毎日、渋谷駅前で先生が帰って来られるのを待ち続けていました。先生を慕うハチ公の一途な姿は、人々に深い感銘を与えました。



出典： http://www.en.a.u-tokyo.ac.jp/hachi_ueno_hp/hp/

↓ CLICK

東大ハチ公物語

■ハチ公のご主人、上野先生について

上野英三郎先生（三重県出身）は、明治28年に東京農科大学農学科を卒業され、大学院を経て東京帝国大学に勤められながら、農商務省、内務省を兼務されて、耕地整理、土地改良事業の計画に参加されました。

先生の功績は、農業土木学の基礎を作り、その事業を担う技術者を養成したことが上げられます。農商務省での講義を含む受講者は二千人を超えています。教育関係では、東京帝国大学に農業土木の専修コースを創設され、これが日本の大学における農業農村工学のルーツとなっています。また、大学だけでなく、技師としての実務的手腕も大いに発揮され、河川改修、治水事業、産米増殖計画など計画立案の実施など多方面に活躍されました。